SONY

Optical Disc Archive Drive Unit

ODS-D55U
ODS-D77U

⚠警告 電気製品は、安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このオペレーションマニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**このオペレーションマニュアルをよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Optical Disc Archive 1

OPERATION MANUAL

Japanese

2nd Edition

目次

第 1 章　概要

1-1 特長 4
1-2 使用例 4
1-3 推奨ソフトウェア 6
1-3-1 ソフトウェア一覧 6
1-3-2 動作環境 7

第 2 章　各部の名称と働き

2-1 前面パネル 9
2-2 後面パネル 11

第 3 章　準備

3-1 本機の設置 12
3-2 ソフトウェアのインストール 12
3-2-1 Windows の場合 13
3-2-2 Macintosh の場合 13
3-2-3 Linux の場合 13
3-3 接続と設定 14
3-3-1 コンピューターとの接続 14
3-4 電源の準備 15
3-5 メディアの取り扱い 15
3-5-1 読み出し・書き込み可能なメディア 15
3-5-2 取り扱い上の注意 16
3-5-3 カートリッジメモリーについて 17
3-5-4 誤消去を防止するには 17
3-5-5 カートリッジを出し入れするには 17

第 4 章　ソフトウェアを使う

4-1 ユーティリティーソフトウェアの起動と終了 19

4-1-1 起動 / 表示する 19

4-1-2 コンソールウィンドウを終了する / 閉じる 19

付録

使用上のご注意 21

結露について 21

本機への衝撃について 21

本機の輸送について 21

ファイルの読み出し時間について 21

ファイルの書き込み時間について 21

仕様 22

概要



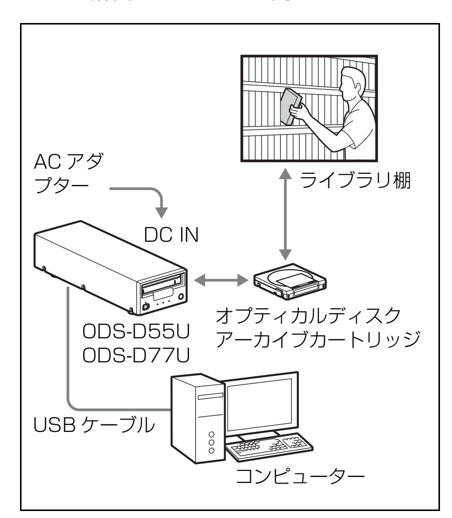
1-1 特長

本機の特長は以下のとおりです。

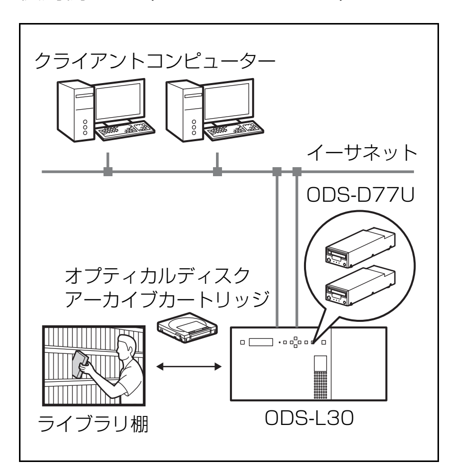
- ひとつのカートリッジで大容量書き込み / 読み出しが可能
- ライトワンス型とリライタブル型の両タイプのカートリッジに対応
- USBインターフェースによるITフレンドリーシステムを採用
- あらゆるユーザーデータをコンピューターのデータとして書き込み可能
- コンピューターから外部ストレージとして扱うことが可能
- ユーティリティーソフトウェアを用いたコンピューターからのメニュー操作が可能
- ロールバック、ベリファイ、ファイル修復、ボリューム複製機能搭載
- Content Manager との組み合わせで、快適なコンテンツ管理を実現
- メディア診断機能搭載（将来対応）
- コンテンツの暗号化対応（将来、ファームウェアアップデートにて対応）（ODS-D77U のみ）

1-2 使用例

下図は、本機に接続したコンピューターで読み出しおよび書き込みを行う、ライブラリ棚管理システムの例です。



下図は、ODS-L30 にインストール時の
使用例です（ODS-D77U のみ）。





1-3 推奨ソフトウェア

1-3-1 ソフトウェア一覧

本機を使用する際には、以下のソフトウェアをソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトからダウンロードしてください。

ソフトウェア	対象 OS	機能	入手先
Optical Disc Archive Software	Windows/ Macintosh/ Linux	本機をコンピューターと接続し、ファイルの読み出し / 書き込みなどを行うための基本ソフトウェアです。 **ご注意** 本機をコンピューターと接続する前に、あらかじめ本ソフトウェアをインストールしてください。	ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトからダウンロード a)
ユーティリティーソフトウェア (Optical Disc Archive Utility)	Windows/ Macintosh/ Linux	本機に接続したコンピューター上で、以下の機能を実行できます。 • 機器およびメディア情報の表示 • メディアのロールバック • メディアのフォーマット • メディアのファイナライズ（ライトワンスメディアのみ対応） • 破損ファイル修復 • ボリューム複製 • メディア診断（将来対応） • ファームウェアの更新 • 各種の設定 **ご注意** ユーティリティーソフトウェアは、Optical Disc Archive Software をインストールすることによって自動的にインストールされます。	

ソフトウェア	対象 OS	機能	入手先
Content Manager	Windows/ Macintosh	Optical Disc Archive Drive を最大限活用して、コンテンツの管理を実現するソフトウェアです。 本ソフトウェアを使用するためには、Content Manager のシリアルナンバー b) の入力による認証が必要です。シリアルナンバーによる認証方法について詳しくは、Content Manager のヘルプをご覧ください。	ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトからダウンロード a)

a) ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト

- USA http://pro.sony.com
- Canada http://www.sonybiz.ca
- Latin America http://sonypro-latin.com
- Europe http://www.pro.sony.eu
- Japan http://www.sonybsc.com
- Asia http://pro.sony-asia.com
- Korea http://bp.sony.co.kr
- China http://pro.sony.com.cn

b) Content Manager のシリアルナンバーは Optical Disc Archive Drive Unit にひとつ付属しています。ひとつのシリアルナンバーは 1 台のコンピューターでご利用できます。2 台目以降のコンピューターでご利用の場合は、ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイトで追加のシリアルナンバーをご購入ください。

1-3-2 動作環境

Optical Disc Archive Software およびユーティリティーソフトウェアは、以下の環境で動作検証をしています。

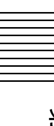
◆ Content Manager の動作環境については、Content Manager のヘルプをご覧ください。

ご注意

この動作検証結果は、すべてのコンピューターに適用されるものではありません。

Windows

項目	条件
プロセッサー	Intel Core 2 Duo 2.66GHz 以上または Intel Xeon 2GHz 以上
メモリー	32bit 機：2GB 以上、64bit 機：2GB ×（台数）以上
HDD の空き容量	32bit 機：16GB 以上、64bit 機：8GB+4GB ×（台数 +1）以上
OS	ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト（7 ページ）をご覧ください。
その他	• SuperSpeed USB（USB 3.0）対応（本機との接続には、SuperSpeed USB（USB 3.0）ホストコントローラーが必要です。） • Hi-Speed USB（USB 2.0）対応（本機との接続には、Hi-Speed USB（USB 2.0）ホストコントローラーが必要です。）



Macintosh

項目	条件
プロセッサー	Intel Core 2 Duo 2.2GHz 以上または Intel Xeon 2GHz 以上
メモリー	32bit 機：4GB 以上、64bit 機：1 台接続の時は 4GB 以上、複数台接続の時は 2GB ×（台数）以上
ハードディスクの空き容量	32bit 機：16GB 以上、64bit 機：8GB+4GB ×（台数 +1）以上
OS	ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト（7 ページ）をご覧ください。
その他	• Hi-Speed USB（USB 2.0）対応（本機との接続には、Hi-Speed USB（USB 2.0）ホストコントローラーが必要です。） • SuperSpeed USB（USB 3.0）対応（本機との接続には、SuperSpeed USB（USB 3.0）ホストコントローラーが必要です。）[a]

a) Macintosh 本体の USB ポートのみサポートしています。

Linux

項目	条件
プロセッサー	Intel Core 2 Duo 2.66GHz 以上または Intel Xeon 2GHz 以上
メモリー	32bit 機：2GB 以上、64bit 機：2GB ×（台数）以上
HDD の空き容量	32bit 機：16GB 以上、64bit 機：8GB + 4GB ×（台数 +1）以上
OS	ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト（7 ページ）をご覧ください。

◆ ソフトウェアについて、詳しくは 19 ページをご覧ください。

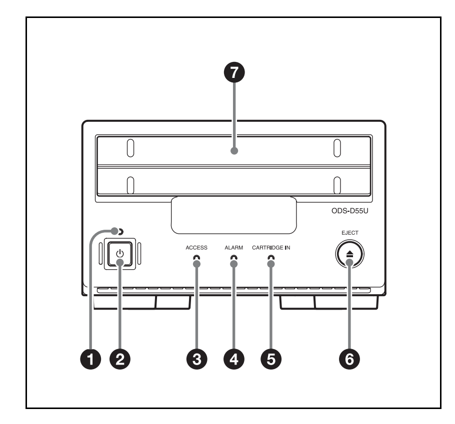
ご注意

- 最大接続可能台数は、32bit 機は 1 台、64bit 機は 4 台です。
- Optical Disc Archive Software は PowerPC および Mac OS X 10.5 以前には対応していません。
- USBハブ経由の接続は動作保障していません。



各部の名称と働き

2-1 前面パネル



❶ ⏻（電源）インジケーター

⏻（電源）ボタンがオンに設定されているとき、緑で点灯します。

❷ ⏻（電源）ボタン

電源を ON/OFF します。

ご注意

電源を OFF する前に、極力カートリッジを本機から排出して下さい。特に本機を移動をする場合は、必ずカートリッジを排出してください。

❸ ACCESS（アクセス）インジケーター

コンピューターからメディアにアクセスしているとき、青で点滅します。

ただし、アクセス終了後にメディアへの管理情報の書き込みが保留されている間は、１秒間隔で点滅します。
保留されている間も、カートリッジの取り出しやコンピューターからの操作は可能です。
管理情報の書き込みが行われた後、操作した処理が行われます。
管理情報の書き込みが保留される時間は、約５秒です。
上記の書き込み保留時間が経過すると、カートリッジの取り出しやコンピューターからの操作を行わなくても、管理情報の書き込みが行われます。

ご注意

ACCESS インジケーター点灯中および点滅中に ⏻（電源）ボタンをオフにしたり電源コードおよび USB ケーブルを抜いたりしないでください。メディア内のデータが破壊される恐れがあります。

❹ ALARM（アラーム）インジケーター

本機に異常が発生すると、次表のように赤で点滅します。

インジケーター	意味
１秒間に４回点滅	エラー（主にハードウェアに起因する異常）が発生した。
１秒間隔で点滅	上記以外のアラームが発生した。

ご注意

アラームの内容によっては、インジケーターが 5 秒間だけ点滅する場合があります。

◆ 本機で発生したアラームは、ユーティリティーソフトウェアのアラームログで確認することができます。詳しくは、ユーティリティーソフトウェアのヘルプをご覧ください。

◆ インジケーターが 0.25 秒間隔で点滅していて、かつアラームログで確認できない異常は、故障の可能性があります。このような場合は、ソニーのサービス担当者にご連絡ください。

異常な状態が解消されると、インジケーターは消灯します。

❺ CARTRIDGE IN（カートリッジイン）インジケーター

本機にカートリッジが挿入されているとき、緑で点灯します。
カートリッジ排出時は、緑で点滅します。

❻ EJECT（カートリッジ排出）ボタン

カートリッジを取り出します（17 ページ参照）。

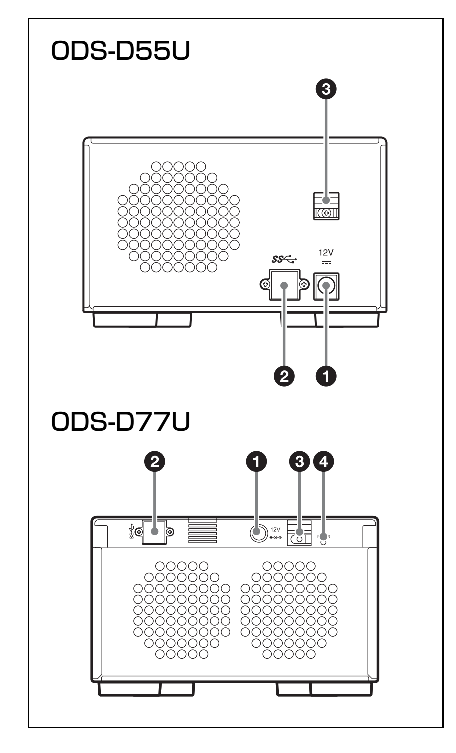
ご注意

- このボタンはメディアとのアクセス中は無効になります。メディアとのアクセスを停止してから取り出すか、コンピューターからの操作でカートリッジを取り出してください。
- 本機を Macintosh に接続しているときは、このボタンは無効になります。

❼ カートリッジ挿入部

ラベル面を上側にしてカートリッジを挿入します（17 ページ参照）。

2-2 後面パネル



❶ DC 電源入力端子

付属の AC アダプターと電源コード（別売）を使って AC 電源に接続します。

❷ USB 端子（SuperSpeed USB（USB 3.0）対応）

付属の USB ケーブルを使ってコンピューターに接続します。

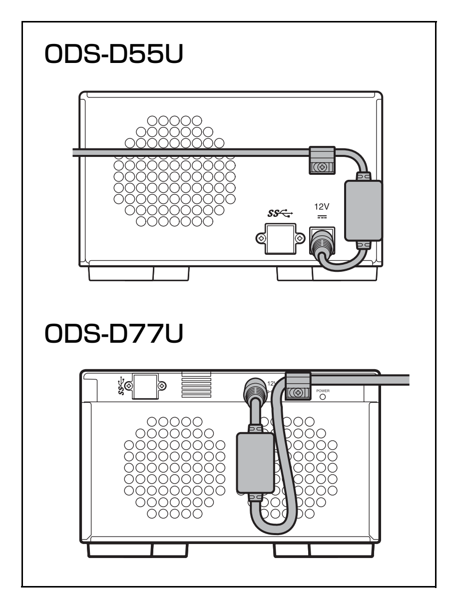
ご注意

USB 接続したコンピューターから本機が認識されないときは、USB ケーブルを外して、もう一度まっすぐに接続し直してください。

❸ ケーブルクランパー

AC アダプターのケーブルを固定するために使用します。

図のようにケーブルクランパーにケーブルを挟み込んでください。



❹ 電源インジケーター

⏻（電源）ボタンがオンに設定されているとき、緑で点灯します。

準備　第3章

3-1 本機の設置

本機は、必ず水平に設置してください。

ご注意

- 本機は縦置き / 斜め置きには対応していません。
- 設置姿勢が適切でないと、ALARM インジケーターが点滅することがあります。
- ALARM インジケーターが点滅した場合は、本機を水平に設置して、電源を OFF/ON してください。
- 本機を ODS-L30 に搭載する場合は、L30 のインストレーションマニュアルに従って設置してください (ODS-D77U のみ)。

3-2 ソフトウェアのインストール

本機を使用するためには、本機を接続するコンピューターに各ソフトウェアをあらかじめインストールしてください。

ご注意

Optical Disc Archive Software と、一部のアンチウイルスソフトウェア、スパイウェアツール、OS 標準以外の UDF2.5 または UDF2.6 ファイルシステムドライバーを含む製品が同時にインストールされていると、動作が不安定になる場合があります。Optical Disc Archive Software およびユーティリティーソフトウェアの動作が不安定な場合は、それらのソフトウェアの競合や設定をご確認のうえ、設定を変更してください。

3-2-1 Windows の場合

Optical Disc Archive Software とユーティリティーソフトウェアをインストールするには

ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト（7 ページ参照）から、Optical Disc Archive Software をダウンロードしてください。

ご注意

- バージョンの古い Optical Disc Archive Software がインストールされている場合、アンインストールが必要です。新しいバージョンをインストールする前に、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」から、Sony Optical Disc Archive Software を削除し、必ずコンピューターを再起動してください。
- インストールを実行すると、それ以前の設定項目の値は初期化されます。

3-2-2 Macintosh の場合

Optical Disc Archive Software とユーティリティーソフトウェアをインストールするには

ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト（7 ページ参照）から、Optical Disc Archive Software をダウンロードしてください。

ご注意

Optical Disc Archive Software およびユーティリティーソフトウェアはインストールによって上書きされます。
設定項目は、新しいバージョンのユーティリティーソフトウェアをインストールした後も継承されます。

3-2-3 Linux の場合

Optical Disc Archive Software とユーティリティーソフトウェアをインストールするには

ソニープロフェッショナル / 業務用製品サイト（7 ページ参照）から、Optical Disc Archive Software をダウンロードして下さい。

ご注意

- Optical Disc Archive Software をコンピューターにインストールせずに本機を接続すると、コンピューターの動作に支障を来たすことがあります。これを避けるためには、本機をコンピューターに接続する前に、あらかじめ Optical Disc Archive Software をインストールしてください。
  もし、コンピューターの動作に異常が見られる場合は、コンピューターをシャットダウンし、本機とコンピューターの接続を外し、コンピューターを再度立ち上げ、本ソフトウェアをインストールしてください。その後、本機とコンピューターを接続してください。

- アップデートインストールを行うと Optical Disc Archive Software およびユーティリティーソフトウェアは、上書きされます。設定項目は、新しいバージョンをインストールした後も継承されます。
- Optical Disc Archive Softwareをアンインストールした後、新しいバージョンの Optical Disc Archive Software をインストールすると、それ以前の設定項目は初期化されます。

3-3 接続と設定

3-3-1 コンピューターとの接続

本機とコンピューターを接続することによって、ユーティリティーソフトウェアや他のソフトウェアを使用することができます。

◆ 接続例は「1-2 使用例」（4 ページ）をご覧ください。

ご注意

- あらかじめ、Optical Disc Archive Software（13 ページ参照）をインストールしてください。
- Windows 搭載のコンピューターに接続されている ODS-D55U/D77U の接続を解除する場合は、コンピューター側で「ハードウェアの安全な取り外し」を実行後にケーブルを抜いてください。
- 本機にカートリッジを入れたまま Windows 搭載のコンピューターを起動すると、コンピューターの起動が正常に行えなかったり、起動が遅くなったりすることがあります。
- 接続するコンピューターによっては、本機の電源が入った状態でコンピューターを起動した場合に正常に起動できないことがあります。その場合は本機の電源を切る、または USB ケーブルの接続を外した状態でコンピューターを起動してください。

3-4 電源の準備

本機は AC アダプターを電源として使用します。
本機後面の DC 電源入力端子 （11 ページ）に付属の AC アダプターと電源コード（別売）を接続します。

ご注意

本機は、USB ケーブルを通じて給電することはできません。

3-5 メディアの取り扱い

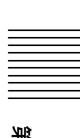
3-5-1 読み出し・書き込み可能なメディア

本機では、以下の Optical Disc Archive Cartridge および同等品の読み出しおよび書き込みが可能です。

カートリッジ	メディアタイプ	作成可能ファイル数
ODC300R 容量：300GB	ライトワンス	60,000 または 240,000
ODC300RE 容量：300GB	リライタブル	60,000 または 240,000
ODC600R 容量：600GB	ライトワンス	60,000 または 240,000
ODC600RE 容量：600GB	リライタブル	60,000 または 240,000
ODC1200RE 容量：1.2TB	リライタブル	60,000 または 240,000
ODC1500R 容量：1.5TB	ライトワンス	60,000 または 240,000

ご注意

- ライトワンス / リライタブル型カートリッジ共に、書き込んだファイルを削除しても空き領域は増えません。
- ライトワンス型カートリッジは、以下の点に注意してください。



- 再フォーマットを行っても空き領域は増えません。
- ファイルの書き込みを繰り返すと、メディア上の追記リソース領域（メディアの管理情報などを書き込む領域）も消費されます。追記リソース領域の空きがなくなると、ファイル書き込み用の空き領域が残っていても、書き込みができなくなる場合があります。
- ファイナライズ後は書き込みができなくなります。

- フォーマット時に作成可能ファイル数を選択することができます。
（60,000 または 240,000）
- リライタブルメディアは再フォーマット時に作成可能ファイル数を選択することができますが、ライトワンスメディアは再フォーマット時に作成可能ファイル数を選択することができません。初回フォーマット時の作成可能ファイル数（60,000 または 240,000）が引き継がれます。
- 作成可能ファイル数を 240,000 ファイルモードでフォーマットした場合は、ファイル修復機能による修復率が 60,000 ファイルモード時より劣る場合があります。

3-5-2 取り扱い上の注意

取り扱いかた

Optical Disc Archive Cartridge は 12 枚のディスクをシェルの内部に格納し、ほこりや指紋を気にせずに手軽に取り扱えるように設計されています。ただし、落下等により強い衝撃をカートリッジに与えると、破損、ディスクへの傷の原因となることもあります。傷などがつくと、記録できなくなったり、記録したデータを読み出しできなくなったりすることがありますので、取り扱いには充分注意し、大切に保管してください。

- カートリッジ内のディスクは取り出さないでください。
- カートリッジを分解しないでください。
- カートリッジ内のディスクの順序を入れ替えたり、他のディスクに入れ換えたりすると、そのカートリッジは本機から認識されなくなり、使用できなくなります。
- インデックスシールは付属のシールを推奨します。正しい位置にお貼りください。

保管のしかた

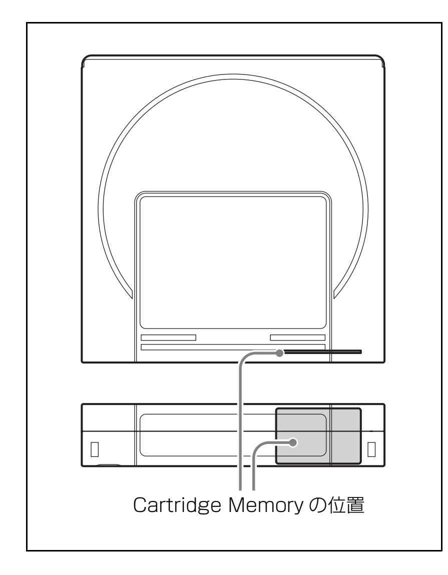
- 直接日光が当たるところなど、温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。
- カートリッジにほこりなどが入る可能性のあるところには放置しないでください。
- カートリッジはケースに入れて保存してください。

お手入れのしかた

- カートリッジ表面についたほこりやゴミは、乾いた布で軽くふき取ってください。
- 結露した場合は、十分乾いてからご使用ください。

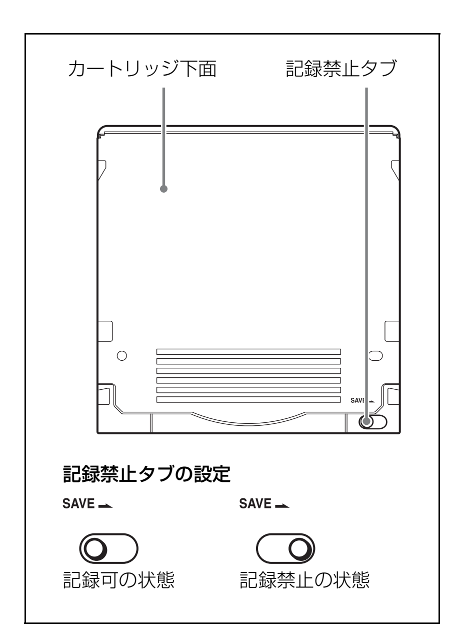
3-5-3 カートリッジメモリーについて

Optical Disc Archive Cartridge は、本機と非接触通信可能な Cartridge Memory を内蔵しています。
Cartridge Memory には Optical Disc Archive Cartridge の基本情報が書き込まれています。
将来的に、アプリケーションソフトウェアを利用して、ユーザーデータの書き込み / 読み出しが可能になります。



3-5-4 誤消去を防止するには

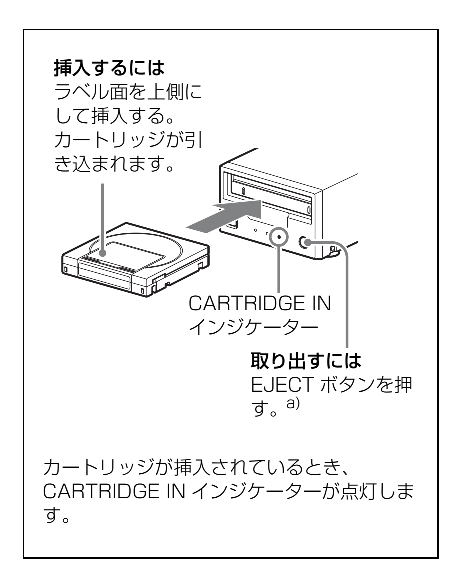
メディアの記録内容を誤って消してしまうのを防ぐためには、次図のようにカートリッジ下面（ラベル面の裏側）にある記録禁止タブを矢印の方向に設定しておきます。



メディアの記録禁止設定は、ユーティリティソフトウェアやファイルマネージャーからも可能です。
記録禁止タブまたはソフトウェアのどちらかが記録禁止設定になっていると、そのメディアは記録禁止となります。

3-5-5 カートリッジを出し入れするには

カートリッジの出し入れは、⏻（電源）ボタンをオンにしてインジケーターを点灯させた状態で、次図に示すように行ってください。



a) Windows の場合のみ

ご注意

- フォーマットされていないカートリッジを本機に挿入した場合は、自動でフォーマットされます。
- コンピューター側のソフトウェアでメディア上のファイルを操作している間は、カートリッジの排出が制限されます。
- EJECT ボタンを押してもカートリッジが取り出せない場合は、電源の OFF/ON 後に EJECT ボタンを押してください。それでも復帰しない場合はソニーのサービス担当者にご連絡ください。

ソフトウェアを使う　第4章

4-1 ユーティリティーソフトウェアの起動と終了

4-1-1 起動 / 表示する

あらかじめ本機とコンピューターを接続しておきます。

◆ 接続については、「3-3-1 コンピューターとの接続」（14 ページ）をご覧ください。

Windows の場合

本機に接続したコンピューターで以下のいずれかを実行します。

- デスクトップにショートカットアイコンを作成している場合は、アイコンをダブルクリックする。
- [スタート] ボタンをクリックし、「Sony Optical Disc Archive Software」>「Optical Disc Archive Utility」を選択する。

Macintosh の場合

ユーティリティーソフトウェアをインストールしたフォルダーを開き、Optical Disc Archive Utility をダブルクリックします。

Linux の場合

本機に接続したコンピューターで以下のいずれかを実行します。

- [アプリケーションメニュー] をクリックし、[システムツール] から [Optical Disc Archive Utility] を選択する。
- ユーティリティーソフトウェアをインストールしたディレクトリ (/user/bin/odautility) で odautility を実行する。

ユーティリティーソフトウェアのホーム画面が表示されます。

4-1-2 コンソールウィンドウを終了する / 閉じる

本機に接続したコンピューターで以下のいずれかを実行します。

Windows の場合

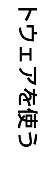
- ウィンドウ右上の×（閉じる）ボタンをクリックする。
- タイトルバーを右クリックして表示されるコンテキストメニューから「閉じる（C)」を選択する。
- 本ソフトウェアが選択された状態で、Alt + F4 キーを押す（Alt キーを押したまま F4 キーを押す)。
- メニューバーから「表示（V)」→「閉じる（C)」を選択する。

Macintosh の場合

- Optical Disc Archive Utility メニューから「Optical Disc Archive Utility を終了する」を選択する。
- タイトルバーの[終了]ボタンをクリックする。
- 本ソフトウェアが選択された状態で、Command + Q キーを押す（Command キーを押したまま Q キーを押す）。

Linux の場合

- ウィンドウ右上の×（閉じる）ボタンをクリックする。
- タイトルバーを右クリックして表示される「閉じる (C)」を選択する。
- 本ソフトウェアが選択された状態で、Alt + F4 キーを押す（Alt キーを押したまま F4 キーを押す）。
- メニューバーから「表示」→「閉じる」を選択する。



付録

使用上のご注意

結露について

本機を冷たい場所から暖かい場所へ移したり、湿気の多い場所で使用したりすると、空気中に含まれる水蒸気が、光学ピックアップに水滴となって付着することがあります。これを結露といい、このような状態で本機を使用すると読み出しや書き込みが正常に行われない可能性があります。

結露に対処する方法として、以下の点にご注意ください。

- 結露の可能性のある状況で本機を移動するときは、あらかじめカートリッジを挿入しておいてください。

本機への衝撃について

カートリッジが本機に挿入された状態で、本機に衝撃を加えないでください。

本機の輸送について

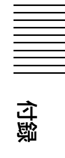
本機の輸送時には、必ずカートリッジを取り出してください。

ファイルの読み出し時間について

- 複数のファイルに同時にアクセスすると、頻繁なディスク交換が発生する場合があり、それによりファイルの転送速度が低下し、操作に対する反応時間が著しく長くなることがあります。
- 単一のファイルにアクセスする場合でも、カートリッジ内の記録位置によってはディスク交換が発生し、ファイルの読み出し開始までに時間がかかることがあります。

ファイルの書き込み時間について

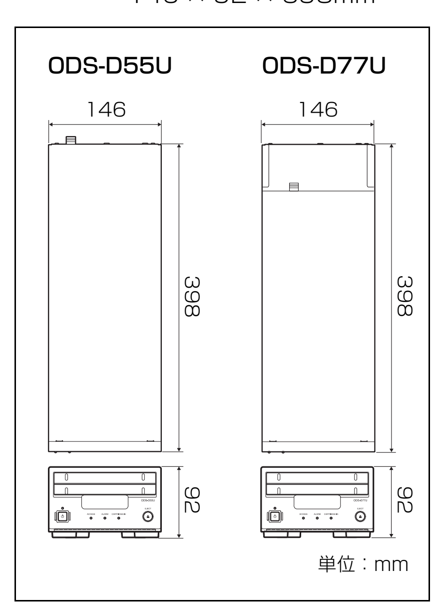
小容量（目安として 100MB 未満）のファイルを多数・連続的に書き込むと、書き込みが完了するまでの時間が長くなることがあります。この場合、動作モードを「記録完了後、直ちに管理情報をメディアに同期する：オフ」に設定すると、書き込みのパフォーマンスとメディアの使用効率が向上します。その反面、書き込み中の障害（電源問題など）発生時のファイル復元能力は低下します。



仕様

一般

電源　DC 12V
消費電力　ODS-D55U: 20W
ODS-D77U: 45W
動作温度　5℃～40℃
保存温度　－20℃～＋60℃
動作湿度　20%～90%（相対湿度）
質量　ODS-D55U: 4kg
ODS-D77U: 4.3kg
外形寸法（幅／高さ／奥行き）
146 × 92 × 398mm



記録ファイル形式

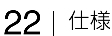
任意のデータ形式に対応

記録・再生対応メディア

ODC300R：300GB
ライトワンス、60,000 または 240,000 ファイル作成可能
ODC300RE：300GB
リライタブル、60,000 または 240,000 ファイル作成可能
ODC600R：600GB
ライトワンス、60,000 または 240,000 ファイル作成可能
ODC600RE：600GB
リライタブル、60,000 または 240,000 ファイル作成可能
ODC1200RE：1.2TB
リライタブル、60,000 または 240,000 ファイル作成可能
ODC1500R：1.5TB
ライトワンス、60,000 または 240,000 ファイル作成可能
および、上記同等品

ご注意

1GB=1,000,000,000bytes で計算した値です。フォーマット後、実際に使用可能な容量はこれより小さくなります。多くのファイルを記録した場合など、条件によっては利用可能な容量が減少することがあります。
記録するファイルのサイズとメディア残量によっても、利用可能な容量が減少することがあります。



入出力端子

USB 端子（SuperSpeed USB（USB 3.0）対応）

付属品

オペレーションガイド（1）
オペレーションマニュアル CD-ROM（1）
シリアルナンバー（Content Manager 認証用）（1）
AC アダプター
サービスパーツ番号：1-489-388-1x（1）
USB ケーブル
サービスパーツ番号：1-839-351-1x（1）

別売りアクセサリー

電源コード（125V/6A、2m）
サービスパーツ番号：1-792-549-1x
オプティカルディスクアーカイブカートリッジ
ODC300R（300GB、ライトワンス型）
ODC300RE（300GB、リライタブル型）
ODC600R（600GB、ライトワンス型）
ODC600RE（600GB、リライタブル型）
ODC1200RE（1.2TB、リライタブル型）
ODC1500R（1.5TB、ライトワンス型）
追加シリアルナンバー

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
- 本製品を使用したことによるお客様、または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機内、記録メディア、外部のストレージ等に記録されたデータの損失、修復、複製の責任は負いかねます。
- 諸事情による本製品に関連するサービスの停止、中断について、一切の責任を負いかねます。



ODS-D55U/D77U
(SYM)
4-448-765-**04**(1)

Sony Corporation

http://www.sony.net/